

燕ロータリークラブ青少年奉仕活動の紹介

2019～2020 年度（上半期）

燕ロータリークラブではスポーツを通じて青少年の健全育成を目的に様々なスポーツ大会を支援しております。また 9 月に行われた第 6 回となる地元中学生と外国人留学生との異文化交流セミナーについても合わせてご紹介いたします。

① 第 3 回 燕ロータリークラブ杯サッカー大会 U12

日 時 2019年9月22日(日)～23(月/祝)

開会式 9月22日(日)午前8時30分

閉会式 9月23日(月/祝)午後4時頃（決勝戦終了後）

- ・ 会 場 吉田大規模公園（吉田ふれあい広場）
- ・ 主 催 燕ロータリークラブ
- ・ 主 管 燕サッカー協会
- ・ 出場チーム 24 チーム（約400名）
- ・ 表彰 【優勝】優勝カップ（ステンレス製オリジナル）・表彰状
【準優勝】準優勝盾・表彰状 【3位】表彰状
◎各チームにサッカーボール 1 個寄贈
- ・ 成績 優勝 グランセナ FC
準優勝 ジョガボーラ柏崎
3位 ヌドウグランティ三条

今年で第3回となる燕ロータリークラブ杯サッカー大会 U-12 を県央地区、新潟地区、長岡地区、柏崎・魚沼地区の小学生年代 24 チームの参加により開催いたしました。強風にも負けない子供たちの走りと父兄の声援を受け熱戦が繰り広げられました。





②第14回 燕ロータリーカップ小学生バドミントン大会

日時 2019年11月9日（日）

会場 燕市体育センター

主催 燕ロータリークラブ

主管 燕バドミントンスポーツ少年団

出場チーム 24チーム（156名）

成績 男子シングルAクラス優勝 富所芽生 6年

男子シングルBクラス優勝 吉田琉之助 4年

女子シングルAクラス優勝 平松心愛 6年

女子シングルBクラス優勝 内田琳 4年

女子団体Aクラブ優勝 シャイニングロード



③第23回 燕ロータリーカップ中学生バドミントン大会

日時 2019年11月23日（土）

会場 燕市体育センター

主催 燕ロータリークラブ

主管 燕バドミントンスポーツ少年団

出場チーム 15チーム（205名）

成績 男子団体Aクラス優勝 吉田中

女子団体Aクラブ優勝 シャイニングロード

男子シングル優勝 枝村雄真（燕中）

女子シングル優勝 嶋岡芽生（シャイニングロード）



県内各地の15団体205人出場 男子Aは吉田中A優勝

地元燕勢の活躍目立つ

燕ロータリークラブと無 vadimドボーツ少年団主催の第二十三回燕ロータリーカップバドミントン大会が二十三日午前八時四十五分から新潟市体育センターで開かれ、県内各地の十五団体一百五人が出場した。

男子団体戦Aクラスでは吉田中Aが優勝した。

燕ロータリーバドミントン中学生大会

大会には地元の燕勢を挙げ、右終の美を飾っていたたきBの二つ子アリーグ

個人戦シングルス、ダブルスの男女別六部

門に参加する少年

が優勝争った。

個人戦シングルス、ダ

ブルスの男女別六部

は勝原木森生、燕中A

が優勝争った。

結果は次の通り。予選

リーグが決勝戦。

大会の

結果は次の通り。予選

④ 中学生を対象とした異文化相互理解セミナー

燕 RC では中学生の子供たちと、新潟県在住の留学生の方々と異文化相互理解セミナーを行う事で、これから時代を担う子供たちにインスピレーションを感じてもらう場となるようにと、6 年前よりこのセミナーを開催してきました。留学生の方々も子供たちと触れ合い話したい気持ちもあり、両者にとり有意義なセミナーであります。燕 RC が今まで手探りで行ってきたセミナーは 6 回を経て一旦 終了として、他の RC 皆様の地で開催していただくことを願い そのノウハウをお伝えしたい思いです。米山奨学生の皆さんのがこのような社会奉仕事業を通し貢献出来る事は彼らにとっての思いとも感じています。

第1回～第6回 延べ人数 1,470名

(内訳 留学生 127名 中学生 1,224名 ファシリテーター日本大学生 119名)

第6回「留学生と“お国自慢”～お互いの子ども文化を知ろう！～」

- ・ 日 時 2019年9月20日(金) 14:00～15:40
- ・ 会 場 燕市立 小池中学校 体育館
- ・ 主 催 燕ロータリークラブ
- ・ 後 援 燕市 燕市教育委員会
- ・ 出席者 コーディネーター 新潟県立大学 教授 櫛谷圭司氏
新潟県立大学学生 21名
小池中学校 全校生徒 196名
各大学より留学生諸君 28名
- ・ 留学生の国別内訳
中国 12名、ベトナム 4名、マレーシア 3名、メキシコ 2名、インドネシア 2名、ナイジェリア 1名、ポルトガル 1名、ミャンマー 1名、韓国 1名、タイ 1名











(3) 2019年(令和元年)9月21日(土曜日)

小池中に各国留学生 生きた国際交流体験

燕RC異文化相互理解セミナー



青柳会長



櫛谷教授

燕ロータリークラブ(青年会議所)は、きのう二十日午後二時から、燕市立小池中学校で、同中学校の生徒を対象に「異文化相互理解セミナー」を開催した。市内の中学生に異文化交換の機会を作り、国際感覚を豊かな若者に育つてもらおうと毎年行っているもので、六回目となることし、全国のロータリークラブ会員からの寄付金を財源として新潟県立大学の学生が直接、県内の各大学に声をかけて留学生の参加を募集。中国やベトナム、マレーシアなどの八カ国の学生二十七人が参加。さらに留学生と中学生の橋渡し役として新潟県立大学の櫛谷圭司教授が講演し、国際交流の意義と重要性を生徒らに説いた。

櫛谷教授は、国際交流の意義について「異文化が接觸すると

さつ。「普段から、中学生のみなさんが外国の方と話したりいろんなことを学ぶ機会は少ないと思います。来年にはオリンピックもあるし、外国について、ニュースで知つたり習つこともあ

ります。ぜひ、有続いて事業のコーディネーターでもある新潟県立大学の櫛谷圭司教授が講演し、国際交流の意義と重要性を生徒らに説いた。

上野公園駐車場の入出庫の時間で見ると、特別展三國志公場に約一時間半はいるので、「どこかで見

るかと思いますが、こうして、外のお兄さん、お姉さんと話す機会はありません」と思

います。ぜひ、有

意義なひとときを楽んでいただけ

ればと思います」とした。

確かに幸せな生活が続ぐかもしれない。しかし、そこには発展はありません」と説明。多くの人が持つスマートフォンを例に挙げ、「作

るための技術は日本でも他でもあつたかもしれません

せんが、この文化を生んだのはアメリカです。生み出したアメリカのシリ

コンバレーには世界からたくさんの人が集まり、講演後には、シヨップが開かれ、自紹介やゲートウェイには、中世から現代まで、それぞれの時代の流行り、自紹介やゲートウェイには、中世から現代まで、それまでの時代の流行り、自紹介やゲ

てくる。世界中の文化を持つ人々が、これまでに蓄積した知識や経験をもつて議論し、その結果、生まれ

がスマートフォン



蛇の目 最後のドライブ (最終回)

となると、中世から現代までの時間で見ると、特別展三國志公場に約一時間半はあるので、「どこかで見

る」となる。世界中の文化を持つ人々が、これまでに蓄積した知識や経験をもつて議論し、その結果、生まれ

がスマートフォン

